

J R労働者が働きやすい環境づくりと社会に寄与する運動を作ろう!

# 東日本ユニオン 仙台地方本部

J R東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者 竹嶋公生 編集責任者 教宣部  
仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT電話 022-221-7375 NTT FAX 022-221-7509  
J R電話 031-3906 J R FAX 031-3909 メールアドレス unionsendai@yahoo.co.jp

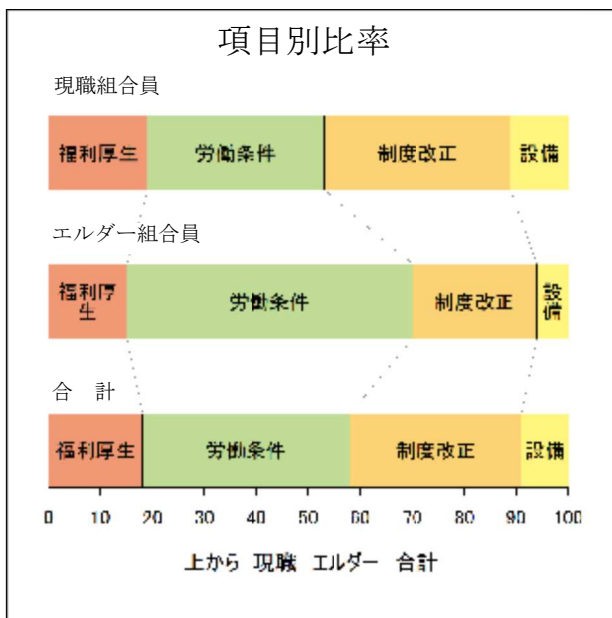
## 「一人一要求」

### 地本集約率は90%

### 123の要求が集まる

J R発足30年にあたり、全組合員を対象に本部が実施した「組合員一人一要求」の、7月25日現在の仙台地方本部の集約結果が出された。地本業務部の集計によると、エルダー社員を含めた122名

の組合員のうち110名から要求が提出され、集約率は、エルダー組合員82%、現職組合員94%で、合計では90%になった。他労組組合員からの要求も含め、要求の総数は123を数えた。



**制度改正と新提案に関心**

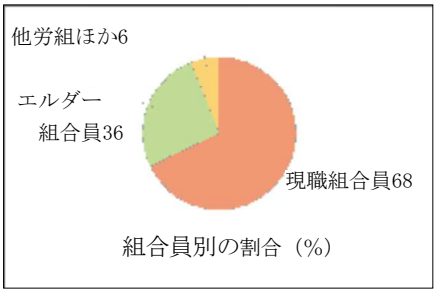
現職組合員の要求で多かったのが、65歳までの定年延長、基本給減額制度の廃止、第2基本給の廃止、エルダー問題などの制度改革に

**劣悪な職場環境**

エルダー職場は、休日前後のインターバルや休日勤務の特休扱いなど、法制上も疑義が生じる勤務実態にあり、社員が「ブラック」と言う労働条件に関する要求が57%と高い数値を示している。

出足が鈍く心配された調査だったが、各分会の精力的な取り組みにより集約数は日ごとに増え、9分会中4分会で100%を達成し、残り5分会のうち3分会で、現職組合員またはエルダー組合員の集約率が100%に達した。3つの職場で7人の他労組組合員から取り組みに参加いただいた。協力をえられたのは日頃の関わりによるところが大きい。今後は関係の深度化と全体への波及が望まれる。

関するもので、比率は36%にのぼった。エルダー問題については、系統によるグループ会社の区割りや、受け入れ先の要員需給で希望箇所への就労が厳しいなか、6月に新たな提案がなされたが、不明な点が多く、対象となる組合員からは、早急な説明を求める声相次いでいる。



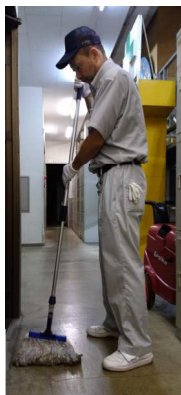
**安全が最優先**

設備要求として出された、719系車両のドア装置の改良、車両センターの増線や防風柵の設置は、安全・安定輸送を見据えたもの

また、他支社への里帰り問題など、国鉄時代に行われた労務政策の偏重が、エルダーになっても解消されていない。

# エルダー頑張る

新庄運転区庁舎を清掃する笹さん



であり、経費の問題を口実とさせない要求の継続性が必要となる。また、保護具の耐久性や本来目的外の機器使用は、労働者の生命に影響を及ぼす重大な問題であり、定期検査や使用ルールの確立は急務である。

## 心身の疲弊が進む

の温度管理や受動喫煙は、健康被害をもたらす軽視できない問題であり、早期の改善を求めていかなければならない。過剰と思える会社の苦情への対応が、報告・追及という職場風土を創り出し、社員を委縮させている。このような実態が「ストレスのない職場環境の実現」



**要求を眠らせない**  
職場には問題が山積している。議論の場を創り出し、一人職場であっても要求の多数派を形成することが重要である。安全・安定輸送の視点による要求作りこそ、次代に引き継ぐ財産になる。交渉の場となる現場、地方、中央が機能を発揮し、組合員との信頼関係を醸成することが、組織の強化・拡大につながることを共通の認識としたい。

山形運輸区で車掌をしていた笹武弘さんは、エルダーの第一希望である、地元での就労している。おもに列

車の清掃作業と、その他駅や運転区の施設清掃も行っている。職場での問題点は、月数回の委員会の場で、全員が意見を申し合ひ対策について討議している。

だが、昨冬、連日続いた除雪作業では、テックノ所属社員にのみ報奨金として数万円のJR旅行券が支給され、



## 宮連分会が暑気払い

熱さでは負けていない!

7月19日、宮城連合分会は暑気払いを兼ね、仙台駅前「日本海庄屋」において分会集会&ビア交流会を開催した。日頃点在する職場で奮闘している分会組合員との貴重な交流の場として、またOBとの交流の場として更なる団結が深まった。

分会長は「宮城連合分会として全体で支援する」とエールを贈った。全体集会では、先に提案されたエルダーのJR本体雇用の問題に疑問が集中した。18日の本部分社間交渉を受け、仙台地本でも解明交渉に向けた、職場での確認行動の取組みが高橋書記長から提起され、参加者全員で確認した。最後に12月に予定されている定期大会は、福島連合分会と同日開催にすることを確認し、芦野執行委員の一本締めで散会した。

同一作業をこなすエルダー社員にはないといった不平等な実態もある。それでも、仕事に対してはプロ意識を持って従事しており、手抜きなどは一切ない。切磋琢磨して職場環境の改善に取り組んで頑張っている。冬季の除雪作業は厳しい。笹さんの二層の活躍が期待される。

### 分会大会日程

- ▽10月17日 山形運輸区分会定期大会 (ゆさ)▽10月20日 山形車両センター分会定期大会▽10月23・24日 新庄地区分会解散大会 (岩手)
- ▽10月25日 山形駅連合分会解散大会